

スピーカーアキュライザーの活用(3)

—CD 再生—

1. 始めに

前報(1)のスピーカーアキュライザーSPA-7の配置替えの結果を試聴していきます。

2. スピーカーアキュライザーSPA-7の試聴方法

今回は、CDの試聴ということで、聴きなれたスピーカーアキュライザーSPA-7の導入(3)と同じ音源を使用します。

試聴するCDは次のとおりで、EMT981による再生とします。使用するCDは、すべて演奏会で聴いてきたものを選び、演奏会の印象の再現性を確認することとします。

Evidence EVCD015

ベートーヴェン Sonata for cello and piano No. 1 他

フランソワ＝フレデリック・ギィ (ピアノ)

グザビエ・フィリップス (チェロ)

harmonia mundi KKC-5976

モーツァルト他 ピアノと管楽器のための五重奏曲 変ホ長調 K.452 他

アンサンブル・ディアールギ

S&R AVCL-25005

バッハ他 あなたがそばにいたら他

森麻季 (ソプラノ) / 山岸茂人 (ピアノ)

Hyperion CDA67993

ウジェーヌ・イザイ 無伴奏ヴァイオリンソナタ 1番～6番

アリーナ・イブラギモヴァ(ヴァイオリン)

SONY SICC 40079

ベートーヴェン ピアノソナタ 8番ハ短調「悲愴」他

ヴァレリー・アフアナシエフ(ピアノ)

JARO Medien GmbH JARO 4310-2

ブルガリア伝統曲

アンジェリーテ

3. スピーカーアキュライザーSPA-7の試聴結果

ベートーヴェンの Sonata for cello and piano は、チェロの音が滑らかで胴鳴りもし

っかり出ており、ピアノの打鍵が力強く響きも豊かです。

モーツァルトのピアノと管楽器のための五重奏曲は、フォルテピアノと古楽器の木管のアンサンブルですが、フォルテピアノは演奏会で聴いてきた印象が蘇りますし、4本の木管の質感がリアルです。

森麻季は、演奏会で聴いた、伸びのある透明度の高いソプラノが聴けます。

イザイの無伴奏ヴァイオリンソナタは、演奏会で聴いてきた、イブラギモヴァのダイナミックなボウイングが再現されます。

ベートーヴェンのピアノソナタは、アフアナシエフのピアノはゆっくり目の演奏ですが、高音は打鍵の後の余韻まで表現され、左手の低音は共鳴弦まで分離して聴こえるような印象です。

アンジェリーテは、ブルガリアンポリフォニー独特の不協和を通りこした、別々の音程の重唱や、バグパイプのような低い持続音も明瞭に聴こえます。

4. まとめ

総じて、CDのデジタル臭さがなく、個々の楽器や声の質感が演奏会の印象を思い起こさせます。

以上